

# 平成22年度 学校保健統計調査結果の概要

統計調査室  
労働力・学事・農林業担当グループ  
電話 043-223-2220

## I 調査の概要

### 1. 調査の目的

この調査は、統計法に基づく基幹統計調査として、学校における幼児、児童及び生徒の発育及び健康の状態を明らかにすることを目的とする。

### 2. 調査の根拠

統計法（平成19年法律第53号）、統計法施行令（平成20年政令第334号）及び学校保健統計調査規則（昭和27年文部省令第5号）による。

### 3. 調査の範囲・対象

#### (1) 調査の範囲

調査の範囲は、幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び中等教育学校のうち、文部科学大臣があらかじめ指定する学校（以下「調査実施校」という。）とした。

#### (2) 調査の対象

#### 調査実施校数、調査対象者数及び抽出率(千葉県)

区分	県内学校数等		調査対象校等					
	学校総数 (校・園) A	児童等総数 (人) B	調査実施校数		発育状態調査対象		健康状態調査対象	
			校・園 C	抽出率 C/A %	者数 (人) D	抽出率 D/B %	者数 (人) E	抽出率 E/B %
幼稚園	585	36,354	46	7.9	1,887	5.2	3,517	9.7
小学校	857	337,351	64	7.5	6,054	1.8	37,760	11.2
中学校	406	164,064	44	10.8	5,204	3.2	23,506	14.3
高等学校	189	147,820	37	19.6	3,285	2.2	32,492	22.0

- 1) 学校総数、児童等総数は平成22年度学校基本調査結果による。
- 2) 発育状態の調査は、調査実施校に在籍する幼児、児童及び生徒のうちから年齢別男女別に抽出されたものを対象とし、健康状態の調査は、調査実施校の在学者全員を対象としている。
- 3) 幼稚園の児童等総数は「満5歳児」のみ的人数。
- 4) 中学校には中等教育学校の前期課程を、高等学校には中等教育学校の後期課程をそれぞれ含む。
- 5) 高等学校の学校総数及び児童等総数には「通信制課程」を含んでいない。

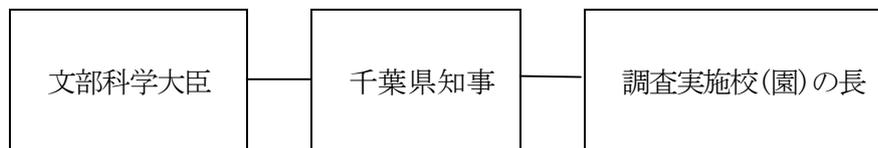
### 4. 調査事項

- (1) 幼児、児童及び生徒の発育状態（身長、体重及び座高）
- (2) 幼児、児童及び生徒の健康状態（栄養状態、脊柱・胸郭の疾病・異常の有無、視力、聴力、眼の疾病・異常の有無、耳鼻咽喉頭疾患・皮膚疾患の有無、歯・口腔の疾病・異常の有無、結核の有無、心臓の疾病・異常の有無、尿糖検出、蛋白検出の有無、寄生虫卵の有無、その他の疾病・異常の有無及び結核に関する検診の結果）

## 5. 調査の時期

調査は、学校保健安全法による健康診断の結果に基づき、平成22年4月1日から6月30日の間に実施した。

## 6. 調査系統



## 7. 利用上の注意

(1) 統計表の符号の用法は、次のとおりである。

「—」—— 該当者がいない場合

「0.0」—— 計数が単位未満の場合

「…」—— 調査対象とならなかった場合

「X」—— 標本サイズが小さい等のため、統計数値を公表しない場合

(2) 表示単位未満は、四捨五入した。

このため、数値の内訳と合計が一致しない場合がある。

(3) 健康状態調査については、平成18年度から調査対象校の全在学者を対象に調査を実施した。

(4) この結果報告書の数値は、後日文部科学大臣が公表する数値をもって確定値となる。

## II 調査結果の概要

### 1. 発育状態

#### (1) 身長・体重・座高の平均値

##### ① 身長

男子は、5歳、6歳、8歳及び17歳で前年度の同年齢より増加しており、その他の年齢では前年度の同年齢より減少している。

女子は、5歳、9歳及び16歳で前年度の同年齢より増加し、その他の年齢では、同じ数値又は減少している。9歳、10歳、11歳では、女子が男子を上回っている。

##### ② 体重

男子は、6歳、8歳、10歳及び15歳から17歳で前年度の同年齢より増加しているが、その他の年齢では前年度の同年齢より減少している。

女子は、5歳、13歳、17歳で前年度の同年齢より増加しているが、その他の年齢では、同じ数値又は減少している。11歳では、女子が男子を上回っている。

##### ③ 座高

男子は、5歳、15歳及び17歳で前年度の同年齢より増加しているが、その他の年齢では前年度の同年齢より減少している。15歳では過去最高となっている。

女子は、5歳、9歳、13歳、14歳、16及び17歳で前年度の同年齢より増加しているが、その他の年齢では同じ数値又は減少している。

9歳から12歳では、女子が男子を上回っている。

**表1 身長・体重・座高の千葉県平均値**

区分	身長(cm)			体重(kg)			座高(cm)					
	平成22年	平成21年	差	平成22年	平成21年	差	平成22年	平成21年	差			
男	幼稚園	5歳	111.0	110.8	0.2	19.2	19.3	-0.1	62.2	62.1	0.1	
		6	117.1	116.9	0.2	21.6	21.5	0.1	64.8	65.0	-0.2	
	小学校	7	122.6	123.0	-0.4	24.0	24.3	-0.3	67.6	68.1	-0.5	
		8	128.4	128.1	0.3	27.3	26.7	0.6	70.2	70.3	-0.1	
		9	133.3	134.1	-0.8	30.7	31.2	-0.5	72.6	73.1	-0.5	
		10	139.3	139.4	-0.1	34.6	34.3	0.3	75.0	75.3	-0.3	
		11	144.9	145.7	-0.8	38.6	38.8	-0.2	77.5	78.0	-0.5	
	中学校	12	152.3	152.9	-0.6	43.9	44.2	-0.3	81.2	81.4	-0.2	
		13	159.7	160.2	-0.5	48.9	49.1	-0.2	84.8	85.1	-0.3	
		14	164.9	166.0	-1.1	54.0	54.2	-0.2	88.0	88.3	-0.3	
	高等学校	15	168.5	168.8	-0.3	60.6	59.5	1.1	90.5	90.1	0.4	
		16	169.8	169.9	-0.1	61.6	61.1	0.5	90.9	91.1	-0.2	
		17	171.2	170.9	0.3	64.5	63.3	1.2	91.7	91.4	0.3	
	女	幼稚園	5歳	110.4	110.1	0.3	19.0	18.7	0.3	62.0	61.6	0.4
			6	115.5	115.9	-0.4	20.8	21.1	-0.3	64.2	64.5	-0.3
		小学校	7	121.3	121.9	-0.6	23.1	23.5	-0.4	67.0	67.4	-0.4
			8	127.5	127.7	-0.2	26.6	26.6	0.0	69.9	70.2	-0.3
9			133.9	133.5	0.4	29.7	29.8	-0.1	72.9	72.8	0.1	
10			140.1	140.5	-0.4	34.0	34.3	-0.3	75.6	76.1	-0.5	
11			147.0	147.0	0.0	38.7	39.0	-0.3	79.2	79.3	-0.1	
中学校		12	152.1	152.1	0.0	43.8	44.1	-0.3	82.0	82.0	0.0	
		13	155.3	155.3	0.0	47.7	47.5	0.2	83.9	83.6	0.3	
		14	156.7	156.8	-0.1	50.2	50.2	0.0	85.0	84.7	0.3	
高等学校		15	157.0	157.8	-0.8	51.9	52.4	-0.5	85.1	85.3	-0.2	
		16	158.4	158.1	0.3	53.5	53.5	0.0	85.7	85.5	0.2	
		17	158.3	158.4	-0.1	53.5	52.1	1.4	85.7	85.3	0.4	

(注)網掛け部分は過去最高を示す。

(2) 全国平均値との比較

① 身長

男子は、5歳から8歳まで、10歳、15歳及び17歳で全国平均値を上回っている。  
女子は、6歳、7歳、10歳及び15歳を除くすべての年齢で、全国平均値を上回っている。

② 体重

男子は、12歳から14歳を除くすべての年齢で、全国平均値と同値又は上回っている。  
女子は、6歳、7歳及び9歳から11歳を除くすべての年齢で同値又は全国平均値を上回っている。

③ 座高

男子は、5歳、7歳、10歳及び15歳で、全国平均値と同値又は上回っている。  
女子は、5歳、9歳、11歳、13歳、14歳及び16歳で全国平均値と同値又は上回っている。

表2 身長・体重・座高の全国平均値との比較

区分	身長(cm)			体重(kg)			座高(cm)				
	千葉県	全国	差	千葉県	全国	差	千葉県	全国	差		
男	幼稚園	5歳	111.0	110.7	0.3	19.2	19.0	0.2	62.2	61.9	0.3
		6	117.1	116.7	0.4	21.6	21.4	0.2	64.8	64.9	-0.1
	小学校	7	122.6	122.5	0.1	24.0	24.0	0.0	67.6	67.6	0.0
		8	128.4	128.2	0.2	27.3	27.2	0.1	70.2	70.3	-0.1
		9	133.3	133.5	-0.2	30.7	30.5	0.2	72.6	72.7	-0.1
		10	139.3	138.8	0.5	34.6	34.1	0.5	75.0	74.9	0.1
		11	144.9	145.0	-0.1	38.6	38.4	0.2	77.5	77.6	-0.1
	中学校	12	152.3	152.4	-0.1	43.9	44.1	-0.2	81.2	81.3	-0.1
		13	159.7	159.7	0.0	48.9	49.2	-0.3	84.8	85.0	-0.2
		14	164.9	165.1	-0.2	54.0	54.4	-0.4	88.0	88.1	-0.1
	高等学校	15	168.5	168.2	0.3	60.6	59.5	1.1	90.5	90.3	0.2
		16	169.5	169.9	-0.4	61.6	61.5	0.1	90.9	91.3	-0.4
		17	171.2	170.7	0.5	64.5	63.1	1.4	91.7	91.9	-0.2
女	幼稚園	5歳	110.4	109.8	0.6	19.0	18.6	0.4	62.0	61.5	0.5
		6	115.5	115.8	-0.3	20.8	21.0	-0.2	64.2	64.5	-0.3
	小学校	7	121.3	121.7	-0.4	23.1	23.5	-0.4	67.0	67.3	-0.3
		8	127.5	127.4	0.1	26.6	26.5	0.1	69.9	70.0	-0.1
		9	133.9	133.5	0.4	29.7	30.0	-0.3	72.9	72.7	0.2
		10	140.1	140.2	-0.1	34.0	34.1	-0.1	75.6	75.9	-0.3
		11	147.0	146.8	0.2	38.7	39.0	-0.3	79.2	79.2	0.0
	中学校	12	152.1	151.9	0.2	43.8	43.8	0.0	82.0	82.1	-0.1
		13	155.3	155.0	0.3	47.7	47.3	0.4	83.9	83.8	0.1
		14	156.7	156.5	0.2	50.2	50.0	0.2	85.0	84.8	0.2
	高等学校	15	157.0	157.1	-0.1	51.9	51.6	0.3	85.1	85.3	-0.2
		16	158.4	157.7	0.7	53.5	52.7	0.8	85.7	85.6	0.1
		17	158.3	158.0	0.3	53.5	52.9	0.6	85.7	85.8	-0.1

## 2. 健康状態

### (1) 疾病・異常の被患率等別状況

「むし歯（う歯）」はすべての各学校段階で最も高くなっている。

次いで、幼稚園ではぜん息及びアトピー性皮膚炎が高く、小学校、中学校、高等学校では「裸眼視力1.0未満の者」が高くなっている。

表3 疾病・異常の被患率等別状況

区分	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	
90%以上					
80%以上～90%未満					
70～80					
60～70		むし歯（う歯）			
50～60			むし歯（う歯） 裸眼視力1.0未満の者	むし歯（う歯） 裸眼視力1.0未満の者	
40～50	むし歯（う歯）				
30～40					
20～30		裸眼視力1.0未満の者			
10～20		鼻・副鼻腔疾患	鼻・副鼻腔疾患	鼻・副鼻腔疾患	
1 ∫ 10	8～10				
	6～8		歯列・咬合	歯垢の状態、	
	4～6	ぜん息 アトピー性皮膚炎	歯列・咬合、 ぜん息 耳疾患	歯肉の状態、 ぜん息、 眼の疾病・異常、 耳疾患 その他の歯・口腔疾 病・異常 歯垢の状態	歯肉の状態 歯列・咬合、
	2～4	歯列・咬合、 鼻・副鼻腔疾患 口腔咽喉頭疾患・異常 耳疾患、	歯垢の状態、 歯肉の状態、 アトピー性皮膚炎 眼の疾病・異常	アトピー性皮膚炎、	ぜん息 眼の疾病・異常
	1～2	その他の皮膚疾患、 眼の疾病・異常、	口腔咽喉頭疾患・異常 その他の疾病・異常、 心電図異常、 難聴、 栄養状態異常、	心電図異常、 せき柱・胸郭異常、 その他の疾病・異常、 難聴 蛋白検出の者 口腔咽喉頭疾患・異常	蛋白検出の者、 アトピー性皮膚炎、 その他の疾病・異常 心電図異常 耳疾患 その他の歯・口腔疾 病・異常
0.1 ∫ 1	0.5～1	その他の歯・口腔疾 病・異常 心臓の疾病・異常、 その他の疾病・異常 歯垢の状態	蛋白検出の者、 心臓の疾病・異常、 言語障害	心臓の疾病・異常、 栄養状態異常、	難聴 顎関節 せき柱・胸郭異常 口腔咽喉頭疾患・異常 心臓の疾病・異常
	0.1～0.5	せき柱・胸郭異常、 栄養状態異常、 腎臓疾患 蛋白検出の者 言語障害	せき柱・胸郭異常、 その他の皮膚疾患、 腎臓疾患、 顎関節、 尿糖検出の者 結核	腎臓疾患、 その他の皮膚疾患、 顎関節、 尿糖検出の者、 言語障害、	栄養状態異常、 腎臓疾患、 尿糖検出の者、 その他の皮膚疾患
0.1未満		寄生虫卵保有者		結核、 言語障害	

(注)1. 疾病・異常被患率の標準誤差が5%以上、受検者数が100人(5歳は50人)未満または回答校が1校以下であるときは統計数値が公表されていない。(幼稚園の「裸眼視力」)

- 「口腔咽喉頭疾患・異常」とは、アデノイド、へんとう肥大、咽頭炎、へんとう炎、音声言語異常のある者等である。
- 「その他の歯・口腔疾病・異常」とは、口角炎、口唇炎、口内炎、唇裂、口蓋裂、舌小帯異常、だ石等のある者である。
- 「心電図異常」とは、心電図検査の結果、異常と判定された者である。
- 「その他の皮膚疾患」とは、伝染性皮膚疾患、毛髪疾患等、アトピー性皮膚炎以外の皮膚疾患と判定された者である。
- 「その他の疾病・異常」とは、いずれの調査項目にも該当しない疾病・異常である。

(2) 主な疾病・異常等の推移及び全国平均値との比較

疾病・異常等のうち主なものについて、その推移及び全国平均値との比較をみると

- ・「むし歯（う歯）」は、前年度と比べると各学校段階で増加しており、全国平均値と比べると幼稚園、高等学校で下回っており、小学校、中学校で上回っている。
- ・「裸眼視力 1.0未満」は、小学校で前年度より増加しており、全国平均値を上回っている。中学校、高等学校では、前年度より下回り、全国平均値においても下回っている。
- ・「鼻・副鼻腔疾患」は、すべての各学校段階で前年度を下回っており、幼稚園及び小学校では全国平均値でも下回っている。
- ・「ぜん息」は、すべての各学校段階で全国平均値を上回っている。
- ・「心電図異常」は、小学校、中学校、高等学校で、全国平均値を下回っている。
- ・「蛋白検出」は、幼稚園、中学校、高等学校で、全国平均値を下回っている。

表 4 主な疾病・異常の推移及び全国平均値との比較 (%)

区分	むし歯(う歯)			裸眼視力(1.0未満)			鼻・副鼻腔疾患			
	千葉県	全国	比較	千葉県	全国	比較	千葉県	全国	比較	
幼稚園	18年	59.5	55.2	4.3	X	24.1	...	0.2	3.4	-3.2
	19年	46.6	53.7	-7.1	X	26.2	...	4.3	3.7	0.6
	20年	41.7	50.3	-8.6	X	28.9	...	4.0	3.8	0.2
	21年	41.7	46.5	-4.8	X	24.9	...	6.5	4.0	2.5
	22年	45.8	46.1	-0.3	X	26.4	...	2.4	3.5	-1.1
小学校	18年	68.9	67.8	1.1	26.2	28.4	-2.2	13.9	11.9	2.0
	19年	66.6	65.5	1.1	24.7	28.1	-3.4	11.7	12.0	-0.3
	20年	63.2	63.8	-0.6	27.7	29.9	-2.2	13.0	11.9	1.1
	21年	60.8	61.8	-1.0	28.0	29.7	-1.7	11.4	12.6	-1.2
	22年	61.2	59.6	1.6	30.0	29.9	0.1	10.9	11.7	-0.8
中学校	18年	65.4	59.7	5.7	48.2	50.1	-1.9	12.2	10.7	1.5
	19年	59.1	58.1	1.0	47.5	51.2	-3.7	11.0	11.1	-0.1
	20年	56.4	56.0	0.4	58.4	52.6	5.8	13.5	10.8	2.7
	21年	51.0	52.9	-1.9	58.5	52.5	6.0	12.9	10.8	2.1
	22年	52.6	50.6	2.0	52.2	52.7	-0.5	12.4	10.7	1.7
高等学校	18年	67.4	70.1	-2.7	X	58.7	...	6.9	8.2	-1.3
	19年	70.2	68.5	1.7	61.7	55.4	6.3	9.5	8.4	1.1
	20年	63.3	65.5	-2.2	73.4	58.0	15.4	8.7	8.8	-0.1
	21年	56.5	62.2	-5.7	72.4	59.4	13.0	13.4	9.6	3.8
	22年	59.5	60.0	-0.5	55.0	55.6	-0.6	10.1	8.5	1.6

区分	ぜん息			心電図異常			蛋白検出			
	千葉県	全国	比較	千葉県	全国	比較	千葉県	全国	比較	
幼稚園	18年	3.1	2.4	0.7	...	...	...	0.2	0.5	-0.4
	19年	2.3	2.2	0.1	...	...	...	0.3	0.7	-0.4
	20年	4.1	2.7	1.4	...	...	...	0.2	0.5	-0.3
	21年	3.1	2.2	0.9	...	...	...	0.7	0.6	0.1
	22年	4.1	2.8	1.3	...	...	...	0.4	1.0	-0.6
小学校	18年	6.2	3.7	2.5	1.5	2.3	-0.8	0.7	0.7	-0.0
	19年	5.3	3.9	1.4	1.0	2.5	-1.5	0.6	0.7	-0.1
	20年	5.4	3.9	1.5	0.8	2.7	-1.9	0.7	0.7	0.0
	21年	5.4	4.0	1.4	1.3	2.5	-1.2	0.9	0.8	0.1
	22年	5.2	4.2	1.0	1.7	2.5	-0.8	0.9	0.8	0.1
中学校	18年	3.5	3.0	0.5	1.6	3.3	-1.7	2.4	2.3	0.1
	19年	4.9	3.1	1.8	1.2	3.2	-2.0	2.3	2.4	-0.1
	20年	4.6	3.0	1.6	1.6	3.5	-1.9	2.3	2.5	-0.2
	21年	4.6	3.0	1.6	1.4	3.3	-1.9	2.6	2.5	0.1
	22年	4.3	3.0	1.3	1.7	3.4	-1.7	1.9	2.6	-0.8
高等学校	18年	1.6	1.7	-0.1	2.2	3.5	-1.3	1.9	2.4	-0.5
	19年	2.3	1.8	0.5	1.8	3.2	-1.4	2.0	2.5	-0.5
	20年	2.0	1.8	0.2	1.9	3.1	-1.2	3.0	2.8	0.2
	21年	2.1	1.9	0.2	2.0	3.3	-1.3	1.8	2.9	-1.1
	22年	3.1	2.1	1.0	1.9	3.2	-1.3	1.4	2.9	-1.5

(注) 1. 小数点以下第2位を四捨五入している。

2. 心電図異常については、6歳、12歳、15歳のみ実施している。